

文教大：大学全体で志願者数は 18 人増だが 4 年ぶりに増加 一般：-389 人 共テ：+407 人

※前年度の志願者数を100とする指数
 ※学部名の下の数値は学部全体の指数



主な入試変更点 選抜方法：健康栄養(管理栄養)…<共テ・2期>新規実施

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、18人(100)の微増で4年ぶりに増加だが、連続減少前の2019年度対比では(62)の大幅減少。学部別では、経営(114)、国際(112)、人間科学(110)は増加、健康栄養(105)はやや増加。一方で、情報(69)は大幅減少、文(99)、教育(99)は微減。方式別では、一般方式(95)はやや減少で3年連続減少、共通テスト利用方式(110)は増加で、情報(63)を除く6学部はいずれも増加。

<一般方式>

- 文(93)**は、やや減少で4年連続減少。学科別では、(日本語日本文)(100)を除く3学科が減少で、(中国語中国文)(70)、(外国語)(82)はいずれも大幅減少、(英米語英米文)(93)はやや減少だが4年連続減少。
- 経営(111)**は、前年度半減以下の反動で増加だが、志願者数は2年連続500人を下回った。
- 教育(95)**は、系統への低い人気もあって、やや減少で4年連続減少。課程・専修別では、(発達教育/特別支援教育)(169)、(学校教育/美術)(164)、(学校教育/理科)(120)は大幅増加。一方で、(学校教育/音楽)(69)、(発達教育/初等連携)(78)、(発達教育/児童心理教育)(80)、(学校教育/家庭)(84)、(学校教育/社会)(85)は大幅減少。
- 国際(108)**は、系統への低い人気もあって、前年度半減以下の反動は小さく8%の増加に留まった。学科別では、2学科ともに前年度はほぼ半減だったが反動は小さく、(国際観光)(115)は大幅増加、(国際理解)(104)はやや増加に留まった。
- 人間科学(100)**は、2年連続減少の反動はなく、前年度並。学科別では、(臨床心理)(105)、(心理)(104)はいずれもやや増加。一方で、(人間科学)(92)は減少で3年連続減少。
- 情報(72)**は、3年連続大幅減少で、志願者数は500人を下回った。学科別では、3学科全てが大幅減少で3年連続減少。
- 健康栄養(90)**は、減少で7年連続減少、連続減少前の2016年度対比では(46)の半減以下。

<共通テスト利用方式>

- 文(108)**は、2年連続増加。学科別では、(中国語中国文)(141)は3年連続大幅減少の反動で大幅増加だが、連続減少前の2019年度対比では(26)とほぼ4分の1の志願者数、(日本語日本文)(123)は大幅増加で2年連続増加。一方で、(外国語)(80)は大幅減少、(英米語英米文)(94)はやや減少。
- 経営(121)**は、3年連続大幅減少の反動で大幅増加だが、連続減少前の2019年度対比では(32)とほぼ3分の1の志願者数。方式別では、<共テ・1期>(149)は大幅増加。一方で<共テ・3期>(74)、<共テ・2期>(76)はいずれも大幅減少。
- 教育(110)**は、増加で4年ぶりに増加だが、系統への低い人気もあって、連続減少前の2019年度対比では(73)と大幅減少。課程・専修別では、13課程・専修別8課程・専修で増加。(学校/美術)(148)、(学校/理科)(131)、(学校/社会)(122)、(学校/数学)(116)は大幅増加。一方で、(学校/家庭)(74)は大幅減少。
- 国際(120)**は、3年連続減少の反動で大幅増加だが、系統への低い人気もあって、連続減少前の2019年度対比では(43)と半減以下。学科別では、(国際観光)(145)は3年連続大幅減少の反動で大幅増加、(国際理解)(104)はやや増加。しかし、連続減少前の2019年度対比ではそれぞれ(45)、(41)と半減以下。
- 人間科学(126)**は、3年連続減少の反動で大幅増加、志願者数は3年ぶりに1,000人を上回った。学科別では、(人間科学)(127)、(心理)(127)、(臨床心理)(125)はいずれも大幅増加。
- 情報(63)**は、大幅減少で4年連続減少、志願者数は300人を下回った。学科別では、(情報社会)(55)、(情報システム)(62)、(メディア表現)(74)はいずれも大幅減少。特に、(メディア表現)は4年連続大幅減少、(情報システム)は4年連続減少
- 健康栄養(132)**は、<共テ・2期>新規実施により大幅増加。ただし、これを除くと(95)のやや減少で、4年連続減少。